

2022 年度事業計画

NPO 法人三段峡・太田川流域研究会

I、全体の方針

2021年度のテーマは「生まれた事業の成長」とした。本年はさんけん設立以来の目標であるビジターセンターの開設に取り組む。ビジターセンターの効果は三段峡の魅力の向上と共に、さんけんの活動を三段峡来訪者へ公開し、活動の広がりも期待できる。ビジターセンターを拠点に、博物館展示、自然体験学習、清掃ボランティア募集、講座開催を実施する。さらに来年度以降はビジターセンターの継続的な運用の資金獲得のために、商品開発と販売、飲食の提供へ挑戦する。

三段峡憲章の策定時は、さんけんが主体でビジターセンターの設置など考えられなかったが、会員各位のご尽力により設置が現実となった。また人材戦略として、次年度の地域おこし協力隊の受け入れを申請する。将来的には雇用が可能になるように受入れから3年間で財務基盤を強化したい。また博物館展示では広大さんけん部が広島県の実施する「元気さとやま応援プロジェクト補助金」への申請をする。さんけんとして一層の連携と協力をする。

従来事業を継続しつつ、新規事業が始まる本年は、事務局を中心に負担の増加が予想される。理事会を中心にしっかりと支えていくことを約束し、会員各位には新しい三段峡の未来と一緒に作り上げるために、引き続きご協力をお願いしたい。

取り組みの概要（しらべる＝リサーチ）/環境保全事業・研究事業・観光事業

①「三段峡野外博物館プロジェクト」

（目的）

三段峡憲章の理念の実現と三段峡の本質的な価値を向上に寄与する。同時に調べ続けることで、知見をいつでも活用できる状態を維持する。また三段峡の来訪者に対して三段峡の魅力を伝える取り組みをする。

（実施概要）

- ①ビジターセンターの設置（売店のリノベーション：休眠預金活用補助金）
- ②三段峡講座の開催（細密画・キノコ・南峰と歩く等）
- ③原色広島三段峡図鑑の更新
- ④河川の生き物、三段峡の植物、深入山の希少チョウ類の調査・保全の実施
- ⑤三段峡清掃活動
- ⑥三段峡の情報発信

（人材及び財政戦略）

- 外部人材：認定NPO法人西中国山地自然史研究会を中心に専門家の協力を得る。
- 内部人材：①本宮炎、松尾俊孝、広大さんけん部
- ②本宮炎
- ③本宮宏美、さんけん植物部、広大さんけん部
- ④調査・保全:本宮宏美、小林久哉、さんけん植物部、広大さんけん部、さんけん会員
- ⑤三段峡清掃活動：松尾俊孝、流川さんけん部、さんけん会員
- ⑥三段峡の情報発信/小林久哉、広大さんけん部



資料 3：2022 年度事業計画（案）

- 資金調達：補助金、講師謝礼、会費・寄付・参加費/清掃活動：三段峡同業組合委託費
（目指す成果）

最終アウトカム：三段峡や地域の資源の価値が向上を続けるループが構築される。

今年度のアウトプット：ビジターセンターのリノベーションの完成

（活動予定表の事業番号）101、102、103、202、203、303、

②「旧派溪谷の逆襲プロジェクト」

（目的）

三段峡は 2025 年に名勝指定100 周年を迎える。文化的研究を続ける中で、三段峡に限らず大正期に名勝指定された「溪谷」の価値の低下が明らかになった。名勝指定100 周年を一つのターニングポイントに、改めて「溪谷」の文化的価値を問い直し、今後の100 年に向けた文化的ブランディングの基盤をつくる。

（実施概要）

- ①「南峰と歩く」の書籍化の計画
- ②名勝指定100 周年記念事業の準備、帝釈峡との協力体制の構築の行政への働きかけ
- ③峡内の小径木の伐採（伐採に関して行政と相談をする）
- ④丸木位里に関連した取り組み（展示、水墨画教室）

（人材及び財政戦略）

内部人材：①松尾俊孝、尾崎秀司

- ②連携が再開された場合の帝釈峡との関係構築：松尾敏孝
- ③本宮炎
- ④松尾俊孝、広大さんけん部

（目指す成果）

最終アウトカム：三段峡で南峰時代の文化が体験できる

今年度アウトプット：丸木位里についての展示が行われる

（活動予定表の事業番号）103、201、404、602、

③さんけん自然塾プロジェクト

（目的）

子供同士が学び合う自然塾の持続的な運営体制を構築する。学んだ子供が教える側に、教えた子供は地域の自然を守るフィールドワーカーになり、「地域の自然を守り、見つめる人材が育ち続ける」を目標にする。

（実施概要）

- ①さんけん自然塾の運営
- ②環境教育プログラムの実施
- ③フィールドワーカー継承
- ④動画制作（ミスターフィッシュちゃんねる等）

（人材及び財務戦略）

外部人材：フィールドの専門家、町内の母親、町内外の中学生、EPOちゅうごくスタッフ、東京海上日動社員、川内美佳（映像クリエイター）

資料 3：2022 年度事業計画（案）

内部人材：①本宮炎、瀬尾淳、廣大さんけん部、さんけん会員

②小林久哉、本宮宏美

③上野吉雄、本宮炎

④ミスターフィッシュ

資金調達：寄付金（個人及び里山エコシステム）、助成金、事業収入

（目指す成果）

最終アウトカム：地域のフィールドワーカーの育成

今年度アウトプット：自然塾実施回数4回、フィールド調査12回、環境教育プログラム提供5件

（活動予定表の事業番号）501、502、503

（つなげる=ファシリテーション）/地域づくり事業・友の会運営事業

④エコツーリズム推進プロジェクト

エコツーリズムの推進により、持続可能な地域観光の成立を目的とする。

（実施概要）

①エコツーリズム推進法の認定に向けた取り組み

②地域の自然資源を活用したツアーの開発

③西中国山地サステナブルツーリズム推進協議会の運営

④自然体験活動促進計画策定の取り組み

（人材及び財務戦略）

外部人材：無印良品広島ブロック、安芸太田町産業観光課、地域商社あきおおた

内部人材：①本宮炎

②小林久哉

③本宮炎、小林久哉

④本宮炎

資金調達：事業収入、寄付金

（目指す成果）

最終アウトカム：持続可能な観光の成立

今年度アウトプット：エコツーリズム推進のための会議の実施

（活動予定表の事業番号）301、302、303、403

⑤みんなでつくる流域社会プロジェクト（ネットワーク事業と地域づくり事業を統合）

ファシリテーションを活用した地域マネジメントの実施をし、地域内でのお互いを補い合う協力関係と地域外との連携を強め、豊かな流域社会の実現へ貢献する。

（実施概要）

①あきおおたの楽しい100人の実施

②ファシリテーションの活用と普及

③SDGsの推進

④広島市内の事業者と協力したフードロス削減

⑤地域の農家と協力した葦を活用した農業の試験

⑥市内の事業者と協力した三段峡正面口の活性化

資料 3：2022 年度事業計画（案）

⑦環境パートナーズひろしまへの参加

⑧風力発電の情報発信

（人材及び財務戦略）

外部人材：広瀬印刷、生原商店、環（めぐり）、あきおたラジオ、環境パートナーズひろしま

内部人材：①本宮宏美

②本宮宏美

③瀬尾淳

④⑤本宮炎

⑥瀬尾淳

⑦本宮炎

⑧本宮宏美

資金調達：参加費、補助金（広島県温暖化防止補助金）、寄付金

（目指す成果）

最終アウトカム：さんけんがゲートウェイとなり、多様な主体が地域資源の活用を行う

今年度アウトプット：楽しい100人6回

（活動予定表の事業番号）401、402、404

⑥さんけん100年化計画（組織基盤強化）

さんけんが次世代に引き継げる組織となるために、ブランド力と組織基盤を強化する。

（実施概要）

①認定NPOへの申請

②さんけん新聞の発行、特集号の発行

③チラシ・WEBサイトの充実

④研修への参加

（人材及び財務戦略）

内部人材：①本宮宏美

②尾崎秀司

③本宮曜

④本宮宏美

資金調達：研修への参加/寄付・会費

（目指す成果）

最終アウトカム：次世代に渡せる組織になる

今年度アウトプット：認定NPOへの申請、研修3回以上

（活動予定表の事業番号）504、601、701、702、703

II、事業別計画表＜県提出書式＞

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者の 範囲及び予定 人数	事業費の 予算額 (単位：千 円)
1.環境保全 事業	101「環境保全」 生態系の保全のための活動をする	5 月～11 月	三段峡 深入山	9 人	太田川流域住民	550 (50 万 助成金有)
	102「環境調査」 生態系保全のためのモニタリ ングをする	5 月～11 月	三段峡 深入山	9 人	太田川流域住民	670 (65 万 助成金有)
	103「環境整備」 生態系や景観保全ための補助 路を整備する	5 月～11 月	三段峡 深入山	9 人	太田川流域住民	120 (10 万 委託有)
2.研究事業	201「歴史・文化」 三段峡の歴史や文化の研究を する	通年	三段峡	5 人	太田川流域住民	230 (20 万 寄附予定)
	202「植物」 歩く会などを実施し植物の調 査・研究をする	4 月～12 月	三段峡 深入山 津浪	10 人	太田川流域住民	30
	203「動物」 歩く会などを実施し昆虫等の 調査・研究をする	5 月～11 月	三段峡 深入山	12 人	太田川流域住民	40
3.観光事業	301「インタープリテーション」 さんけんツアーの開発やガイ ド育成を実施する。研修等に参 加する。	4 月～11 月	三段峡 深入山	10 人	太田川流域住民	30
	302「イベント・ツアー企画運 営」 さんけんツアーやイベントの 企画や実施を行う	4 月～11 月	三段峡	10 人	太田川流域 事業者	30 (3 万 助成金 予定)
	303「ビジターセンター」 三段峡交流館にてビジターセ ンター展示の素材を収集する	6 月～3 月	交流館	10 人	センター来訪者	7200 (700 万 助成有)



資料 3：2022 年度事業計画（案）

						(広大コ ラボ事業 として 20 万計上
4.地域つくり事業	401「ファシリテーション事業」 「FMC／(みんなでまろく向上委員会)」の運営をし、地域活性化を話し合う	通年 随時	筒賀社会 福祉協議 会会議室	3 人	安芸太田町民	30
	402「事務局委託」 さんけんの目的に沿うプロジェ クトの依頼を受託し実施す る。「あきおおたの楽しい 100 人」	通年 2 カ月に 1 回	安芸太田 町内	5 人	安芸太田町民	50
	403「会議出席」 さんけんの目的に沿う会議へ の参加依頼を受託し出席する	随時	安芸太田 町内	5 人	安芸太田町 民	40
	404「地域連携」 地域内や都市と中山間地域の 連携を促進する	通年 随時	安芸太田 町内	3 人	全国	30
5.人材育成 事業	501「教育プログラム開発」 自然体験学習・環境教育・ふる 里学習のプログラムを開発す る	通年	三段峡 深入山 龍頭峡	10 人	広島県民 全国	660 (11 万安 芸太田町 より委託 55 万寄附 申請
	502「教育プログラム実施」 子供達への教育プログラムの 実施（さんけん自然塾）	6 月～11 月	三段峡	5 人	広島県民	620 (22 万助成 20 万収益 20 万協賛
	503「教育機関等を対象とした 教育プログラムの実施」 町外の子供達への教育プログ ラムの実施	7 月～12 月	三段峡 深入山 龍頭峡	100 人	三田小学校 芸北小学校 志屋小学校 吉和小学校	1620 (120 万県 42 万 市より委 託
	504「研修への参加」 さんけんの組織強化および目 的達成のための技能習得の為 の研修への参加を行う	随時	広島市内 等	10 人	さんけん メンバー	50



資料 3：2022 年度事業計画（案）

6.情報発信 及び 出版事業	601「さんけん情報発信」 さんけん新聞・HP で情報発信 する	通年	三段峡	6 人	三段峡に関心 のある人	1 0 0
	602「三段峡情報発信」 SNS などを活用して三段峡の 情報を発信をする					
	603「三段峡 web 図鑑」発信 SNS などを活用して生き物の 情報を発信をする	通年	三段峡	6 人	生き物に興味 ある人	5 0
7.友の会運 営事業	701「会員サービス」 会員へ毎月広報や季節の写真 など四季の情報を届ける	通年	三段峡	10 人	さんけんメン バー	10
	702「会員募集」 さんけんの入会案内、会員獲得 イベントなどを実施する	通年	三段峡	10 人	全国民 太田川流域住民 三段峡に興味の ある人	6 0
	703「寄附獲得」 寄附獲得のための事業を実施 する	通年	三段峡	10 人	太田川流域住民	3 0
8.エネル ギー事業	今年度実施予定なし			0 人	太田川流域住民	1 0